キャッシュレス決済環境整備に向けた JMSおまかせサービス導入のご提案

2019年5月

合資会社 j-net

JMS会社概要







JMSは、国内大手カード会社であるJCB、三菱UFJ二コス、UCカードの出資により設立された会社です。高い信頼と品質、利便性を「JMSおまかせサービス」などの独自の加盟店様向けサービスでご提供します。

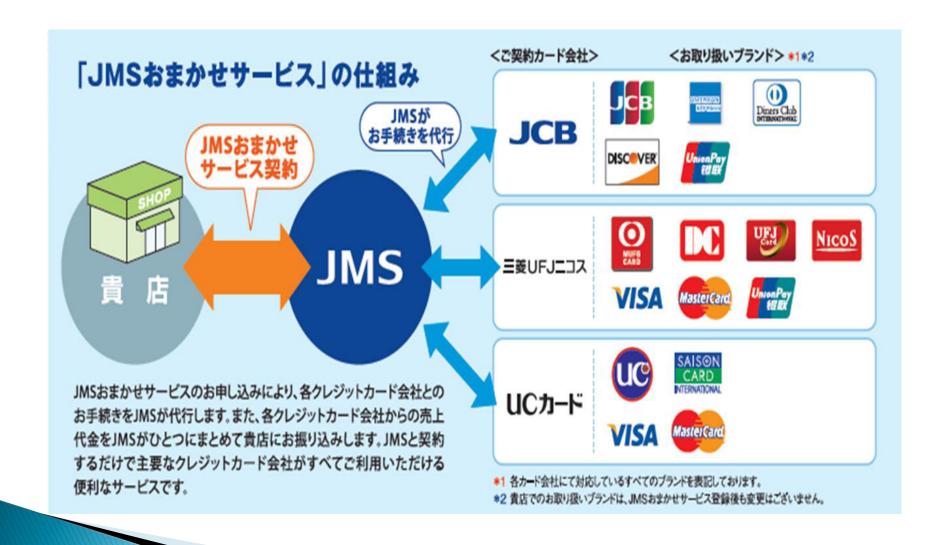
名 称 株式会社ジェイエムエス(JMS Co.,Ltd.)

事業内容 クレジットカード事業などに関する加盟店業務の代行業

(主要国際ブランドクレジットカード、電子マネー取扱い加盟契約可能)

株 主 株式会社ジェーシービー、三菱UFJ二コス株式会社、ユーシーカード株式会社

1. JMSの独自商品(おまかせサービス)について



2.「JMSおまかせサービス」ご活用のメリット

▶ お問合せもJMSだけ! (JMSヘルプデスク)

入金のご確認、各種変更に関するお問合せ等の連絡先が1か所で 全て解決致します。

お振込み明細書が1枚に!

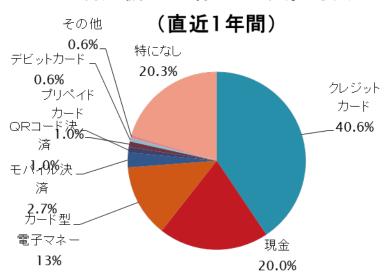
お振込明細書が1枚にまとまるので、経理処理が簡単に!

端末トラブルにも対応いたします!

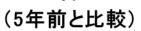
サポートスタッフによる端末トラブルも可能です。

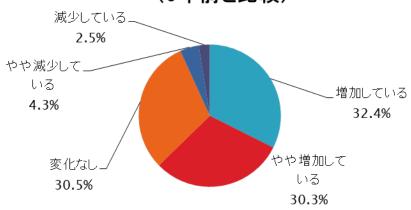
3. 決済手段に関する消費者の声

利用機会が増加した支払方法



現金以外で支払する頻度の増加割 合





出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティング
「キャッシュレス決済に関するアンケート結果 2018年6月26日」

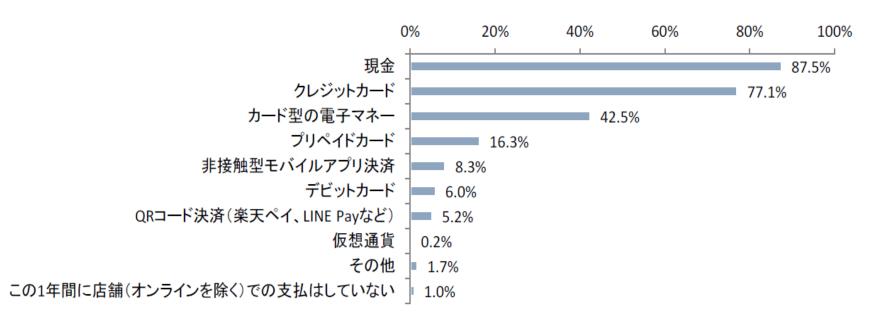
- 5年前と比較して現金以外で支払する頻度の増加割合は、増加しているが32.4%と一番多く、やや増加している30.3%と合わせて60%以上の人が、現金以外で支払する頻度が増えている。
- 直近1年間で利用機会が増加した支払方法はクレジットカードが40.6%と一番多く、 現金(20.0%)、特になし(20.3%)を除く、約60%の人がキャッシュレス決済で 利用機会が増加している。

4. キャッシュレス決済の現状

店舗において利用したことのある支払方法

Q5 あなたがこの1年間に、店舗(オンラインを除く)での支払いに利用したことがある支払方法はどのようなものですか。あてはまるものを全てお選びください。

店舗において利用したことのある支払方法 (複数回答)(n=520)



※調査票では選択肢を、「カード型の電子マネー(楽天Edy、Suica/ICOCA、nanacoカードなど)」、「非接触型モバイルアプリ決済(おサイフケータイ、Apple Pay、Android Payなど)」としている。

出所 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 「キャッシュレス決済に関するアンケート結果」 2018年6月26日

5. キャッシュレス決済の現状

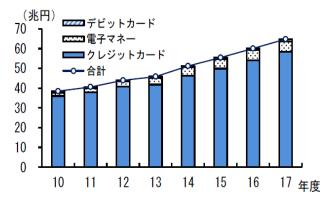
キャッシュレス決済手段別にみた最近の動き

本節では、計数による捕捉が可能なクレジットカード、電子マネー、およ びデビットカードの利用動向について概観する。

クレジットカード、電子マネー、デビットカードによる決済金額は、いずれも増加傾向にある。構成比をみると、比較的高額の支払いに使われることが多いクレジットカードが9割超を占める構図が続いている(図表 4)。

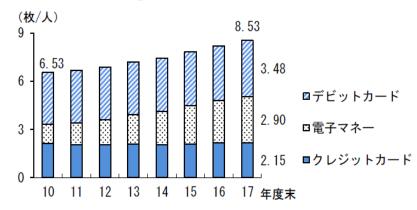
この間、クレジットカード、電子マネー、デビットカードの一人当りの保 有枚数も増加傾向にあり、とりわけ電子マネーの枚数増加が目立っている(図表 5)。

【図表 4】クレジットカード、電子マネー、デビットカードの決済金額 【図表 5】クレジットカード、電子マネー、デビットカードの保有枚数



(出所) クレジットカード:日本クレジット協会、電子マネー:日本銀行「決済動向」、 デビットカード:日本銀行調べ

(注) クレジットカードは暦年ベース。



(出所) クレジットカード:日本クレジット協会、電子マネー:日本銀行「決済動向」、 デビットカード:BIS「Red Book」、日本銀行調べ、人口:総務省統計局「人口推計」

- (注) 1. 2017年度のクレジットカード枚数は未公表のため、2016年度の計数を据え置き。
 - 2. 人口は各年の10月1日現在の値。
 - 3. デビットカードには、デビットカードとして使うことができるキャッシュカードが 含まれている。また、一部先の計数は9月末時点のもの。

出所 日本銀行決済機構局決済システム課 「キャッシュレス決済の現状」 2018年9月

6. 今後のキャッシュレスについて

	2019年									2020年							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
政府施策	キャッシュレス・ 消費者還元事業者登録開始 5%ポイント還元対象 加盟店として申請				キャッシュレス利用 ⇒5%ポイント還元開始予定						7月:	・ピック 24日 〜 19日					
店舗様ご対応	ク	レジッ 申込	_	端末	設置	ク				レジ	·ット	〉利	用開	始			

- ※3月20日時点での予定となります
- ※酒販業種様の手数料率、キャッシュバック対象に関しても予定となります
- ※2019年10月に手数料率が変更になった際は、2020年8月までに戻る予定です

■ <ご参考>導入のおける費用(その他)

1. 加盟契約がない場合は、費用は一切かかりません。



端末八一ド費用 87,000円 ⇒ 無料に!!

端末設置費用 19,950円 ⇒ 無料に!!

契約料や更新費用・・・・・ etc

導入における**一切の費用が<mark>無料</mark>です** (もちろん違約金なし)

2. 端末機種別ランニング費用 お選びいただけます。

	端末機種		特徴	回線料	月額、ロール紙等消耗品代		
高 つ →	CAT-300		5秒程度で決済 電光パネル、電子マネー対応	無料 ※LAN回線につき	無料		
電マイ/ Pay対/	/Apple な機種			※LAIN回版に Je			
	JET-MOBILE		持ち運び簡単 クラス最小、最軽量	800円/月(税抜)	800円/月(税抜) 無料パ ケット数 800パ ケット(120円相当)含 契約事務手数料3,000円 (税抜)		
	JT-C07		15秒程度の決済 コンパクト	電話代約9円/件	無料		
	J-Mups	77	決済スピードが速い(2秒 程度)	無料 ※LAN回線につき	ロール紙10ロール 1,950円 センター利用料		
おす	すめ		電光パッ は、画面が見やすい、 操作しやすい	※LAINEMRIC JO	300円/月(税抜)		

■J-Mups端末における電子マネーについて

端末機種	特徴	回線	消耗品代他
J-Mups	業界最上位機種 決済スピードが速い (1~2秒程度) 電光パネル 画面が見やすい 操作しやすい	LAN回線	純正ロール紙10ロール 2,015円 (税込) センター利用料 800円/月 (税抜) (クレジット300円+電マネ基本料500円) POS連動パッケージ ¥25,000円 (税別)/台 ※クレジットのみの場合のセンター利用料は300円/月(税抜)です。

■電子マネー導入費用および手数料について

(単位?円/税別)

 ブランド名	マネー別様	^拿 入費用	登録	手数料率	リーダーライタ	
フランド石	初期登録費用	月額利用料	. 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	于奴代华	費用	
-	初回のみ	月次	-	-	初回のみ	
交通系	2,000⇒ ¥0	500	必須	2.50%		
iD	1,000⇒ ¥0	150		3.80%	¥18,000 ⇒ ¥0	
nanaco	2,000⇒ ¥0	200	 加盟店希望による	3.10%		
WAON	2,000⇒ ¥0	200	が単位が手になる	3.10%	期間限定	
楽天Edy	2,000⇒ ¥0	200		3.10%		

※電子マネーを全て導入した場合、最大で月額は1,550円(税抜)になります

注1)QUICPayおよびデビットカードには対応しておりません。 注2)電子マネーのみ、三菱UFJニコス社の個社契約となり明細が分かれます。 注3)電子マネー部分は本体と別発送でセルフセッティングとなります。

■非接触電子マネーの市場概況①

日本国内のスマートフォン市場で大きなシェアを得ているiPhoneに「おサイフケータイ」に 近い機能が搭載され、Suicaが使える「Apple Pay」がリリースされました。

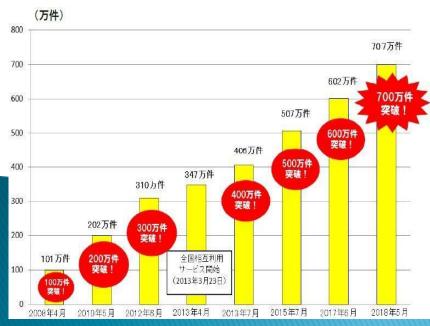
今回のスキームは従来の決済とは異なり、小額決済ではなく**クレジットカードそのものが電子** 化されるものになります。Suica搭載により、日本でApple Payは一気に浸透しました。

下記はJR西日本社が、2018年6月に発表した交通系・電子マネーの1日・1ヶ月あたりの利用状況です。約38.8万店(2018年3月・JR東日本発表)、発行枚数1.3億枚で2021年2.2億枚と予想されています。(2017年末・矢野経済研究所試算)

今後、ますます交通系・電子マネーの利用が見込まれます。

~1日の利用件数は700万件~

~1カ月の利用件数は1億8千万件~

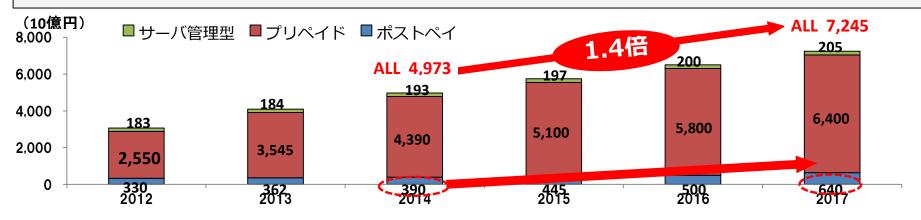




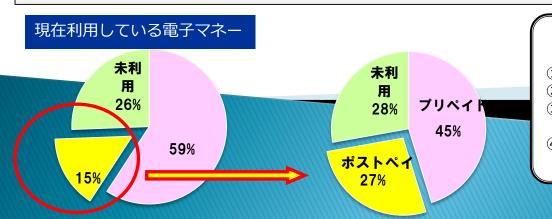
■非接触電子マネーの市場概況②

小額決済における「電子決済」はプリペイド型を中心に拡大 ポストペイ型は3,900億円(2014年)から1.6倍増となる約6,400億円(2017年) まで拡大

|※電子マネー全体の伸び率は1.4倍



現状プリペイド型が主流も、今後利用したい電子マネーとしてポストペイ型を挙げる声も拡大



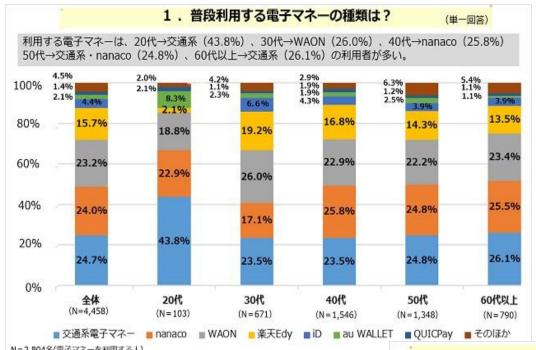
【ポストペイ利用意向理由】

- ①事前のチャージが不要
- ②クレジットカードやマイルの特典をうけることができる
- ③後払い式は毎月の合計金額で掲載し、1回の支払額の 端数がポイントとして無駄にならない。
- ④電子マネー利用後は銀行口座から引き落としになる (チャージを気にせず、使いやすい)

(出所) gooリサーチ「電子マネーに関する意識調査」

Copyright © JMS Co.,Ltd. All rights reserved.

■非接触電子マネーの市場概況③



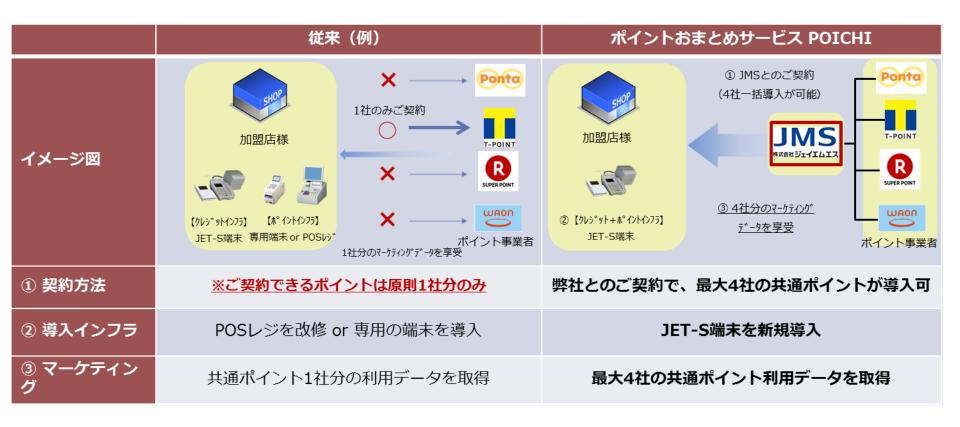
- 電子マネーの種類
- •利用頻度
- ・月の利用金額の状況です。 御社様の決済に関しましても、 交通系・週一回以上利用・2万円 以下の決済がメインだと思いま すので、交通系・電子マネー決 済のみで、お客様のご要望に対 応できると考えています。





■POICHI (ポイントおまとめサービス) について

オプションで、新規・既存顧客の『集客』に役立つサービスをご用意してます。

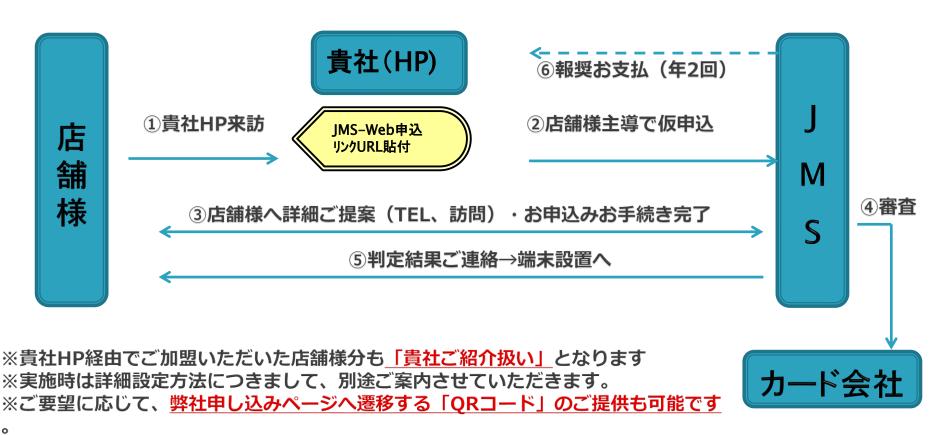


*経済条件は、ご相談承ります。

■WEBバナー活用による協業イメージ

クレジット決済導入ニーズのある貴社既存顧客・新規顧客候補様が、主導的に弊社HPより申込手続きいただけるため、貴社営業マンを介さずともご紹介扱いとさせていただけます。

WEB経由でのお申込みにも弊社より営業アプローチを実施、店舗様にもご安心いただけます。



貴社作成媒体物(紙面)へもご使用いただけます。

■URLリンク貼付までのフロー

※最短3営業日にてURLリンク貼り付け完了となりま す。

STEP



<貴社>弊社担当者へEメールアドレスをご連携いただく

STEP



<弊社>貴社指定のEメールアドレスへURLリンク貼付情報をご連携

JMS

STEP



く貴社>HPへURLリンクをご設定いただく

(例) 掲載内容

■店舗向け決済代行サービス(株式会社ジェイエムエス)

会計処理の簡略化と合わせてクレジット決済の一元化をし てみませんか。

JMSはカード決済にかかわる煩わしさを削減致します。

株式会社ジェイエムエス

STEP



<弊社>貴社よりURLリンク貼付完了のご連絡をいただいた後、 弊社にテスト検証実施

■お問い合わせ

合同会社 j-net 営業部 TEL 042-316-7007